令和6年請願第2号

「公立小中学校・特別支援学校の給食費無償化と安心・安全な地元 農産物の活用を求める請願」について

請願項目 1 公立小中学校・特別支援学校の給食費を無償化すること。

1 本市の給食費無償化の現状について

(1) 第3子以降の学校給食費無償化制度

多子世帯の家計を支援するために、次のア～エをすべて満たす保護者を対象とする学校給食費無償化制度を、令和4年1月から導入しています。

ア 3人以上の子供を扶養している（年齢制限なし）。

イ アの子のうち、上から第3番目以降の子が義務教育期間の千葉市立学校で給食の提供を受けている。

ウ 生活保護・就学援助制度で学校給食費の支援を受けていない。

エ 学校給食費の滞納がない。

※ 保護者の所得制限はなし。

※ 無償化となるのは扶養している子のうち、年齢が上から数えて第3番目以降の子の学校給食費のみ

(2) 就学援助による学校給食費無償化

保護者及び同一住所にお住まいの方全員の所得の合計が、基準となる総所得以下の場合など、経済的な理由でお困りの方のために、学校生活を支援する就学援助を行っており、対象となる場合は、学校給食費を市が負担しています。

(3) 生活保護の教育扶助による給食費無償化

生活保護の教育扶助により、学校給食費の実費が支給されます。

(4) (1)～(3)の令和5年度実績

(単位：人、千円、%)

制度	対象人数	無償化額	対象者割合
第3子以降無償化	5,595	283,762	8.3
就学援助	5,311	253,077	7.8
生活保護	928	41,905	1.4
合計	11,834	578,744	17.5

※ 対象者割合は、児童生徒総数（67,662人・R5.5.1時点）に占める割合

2 本市の給食費の物価高騰対応について

物価高騰が継続する中で、栄養バランスや量を保った学校給食を引き続き安定的に実施するとともに、保護者の皆様にその負担を転嫁させないこととするため、学校給食の食材費の物価高騰分を市が負担しています。

(単位：%)

期間	市負担率
令和4年7月～令和5年3月	5.6
令和5年度	13.4
令和6年4～9月	16.0

3 市立小中学校の給食費を無償化した場合の追加経費見込

(単位：人、千円)

追加対象人数	追加経費
約 55,000	約 3,697,000

※ 中等教育学校前期課程・特別支援学校中学部を含む。

※ 追加経費は、令和6年度の物価高騰対応分を通年分として考慮した金額

4 国・千葉県の動向等

(1) 国

学校給食費の無償化については、国が令和5年6月に閣議決定した「こども未来戦略方針」において、「学校給食費の無償化の実現に向けて」「全国ベースでの学校給食の実態調査を速やかに行い、1年以内にその結果を公表する。その上で、小中学校の給食実施状況の違いや法制面等も含め課題の整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する」とされており、同年12月に閣議決定された「こども未来戦略」でも同様の方針が示されています。

これを踏まえ、本市では、「令和6年度」及び「令和7年度」の「国の施策及び予算に対する重点要望」において、「国の財政措置による学校給食費の無償化の実施」を、国に強く要望しています。

(2) 千葉県

千葉県では、多子世帯における経済的負担の軽減を図るため、市町村が実施する第3子以降の学校給食費無償化を支援する千葉県公立学校給食費無償化支援事業が令和5年1月から導入されました。

対象となる第3子以降の基準は本市と同様であり、補助率は千葉市は4分の1（他市町村は2分の1）となっています。

請願項目 2 安心・安全な地元農産物を使用した学校給食の提供を促進すること。

1 学校給食における地場農産物の導入時期（JA、市場、農政部等と連携した取組）

- （1）学校給食センター（中学校） 平成10年度
- （2）単独調理場（小学校・特別支援学校） 平成18年度

2 学校給食における地場農産物使用量

（1）野菜

年間使用状況		令和4年度		令和5年度	
		量	金額	量	金額
		1451.4t	398,646千円	1363.7t	437,137千円
内訳	千葉市内産	149.4t 10.3%	39,923千円 10.0%	133.8t 9.8%	40,289千円 9.2%
	千葉県内産	295.7t 20.4%	100,024千円 25.1%	276.7t 20.3%	99,449千円 22.8%
	県外産	1001.9t 69.0%	255,168千円 64.0%	947.8t 69.5%	292,960千円 67.0%
	その他（外国産）	4.4t 0.3%	3,531千円 0.9%	5.4t 0.4%	4,439千円 1.0%

※市内産農産物使用品目

キャベツ、コマツナ、ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、ダイコン、長ネギ、スイカ、ブロッコリー、ショウガ、キュウリ、ホウレンソウ
令和6年度は、新規にサラダ菜を実施予定

（2）米

年間使用状況		令和4年度		令和5年度	
		量	金額	量	金額
		645.7t	236,646千円	676.9t	267,367千円
内訳	千葉市内産	235.9t 36.5%	90,937千円 38.4%	256.3t 37.9%	109,325千円 40.9%
	千葉県内産	409.8t 63.5%	145,709千円 61.6%	420.6t 62.1%	158,042千円 59.1%

3 令和6年度地場農産物の導入計画

（1）目的

地場農産物を学校給食のメニューに取り入れ、千葉市の農業や食文化等を児童生徒に知らせ、食への関心を高めると共に、地域理解教育の一環とする。

(2) 特別メニュー実施日

時 期	1 回目	2 回目	3 回目
	6 月	10 月	1 月
	食育の日	市民の日	学校給食週間
市内産農産物等	春夏ニンジン	ニンジン (ちはなちゃんゼリー)	秋冬ニンジン
テーマ	地場産物を給食に取り入れることで、環境に目をむけさせるとともに、食にかかわる人々への感謝の念と理解を深め、食を大切にす る気持ちを育てる。	地場産物を学校給食のメニューに取り入れ、「ふるさと千葉」を愛する心を育てる。	学校給食の意義、役割等について児童生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実発展を図ることを目的とする。
献 立	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん ・牛乳 ・あじのレモン風味揚げ ・たまごたっぷりスープ ・スタミナにんじん ・梅ゼリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん ・牛乳 ・いわしのから揚げねぎソースかけ ・しょうが入り鶏ごぼう汁 ・切干大根の磯風味あえ ・ちはなちゃんゼリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん ・牛乳 ・さばのうま味焼き ・すいとん汁 ・野菜のにんじんドレッシングあえ ・いよかんゼリー

(3) 令和6年度市内産農産物導入予定

実施月	使用農産物	料理
6 月	コマツナ	こまつなとツナの塩こんぶ炒め
6 月	春夏ニンジン	スタミナにんじん
6 月	ジャガイモ	バターしょうゆポテト
7 月	トウモロコシ	トウモロコシ (ゆで・蒸し・焼き)
7 月	スイカ	スイカ
10 月	ニンジン (ちはなちゃんゼリー)	ちはなちゃんゼリー
10 月	サツマイモ	あべかわいも
11 月	コマツナ	こまつなとハムのマヨたま炒め
11 月	キャベツ	キャベツと生揚げのホイコーロー
12 月	サラダ菜	サラダ菜の中華あえ
1 月	秋冬ニンジン	野菜のにんじんドレッシングあえ

4 今後の予定

経済農政局及び JA 千葉みらい等と連携しながら、学校給食で使用する地場農産物の品目、回数を可能な限り増やしていく。